

信用金庫の新しいビジネスモデル策定（2024-11）

- 営業店の標準化状況「事前課題の集計結果」 -

ポイント

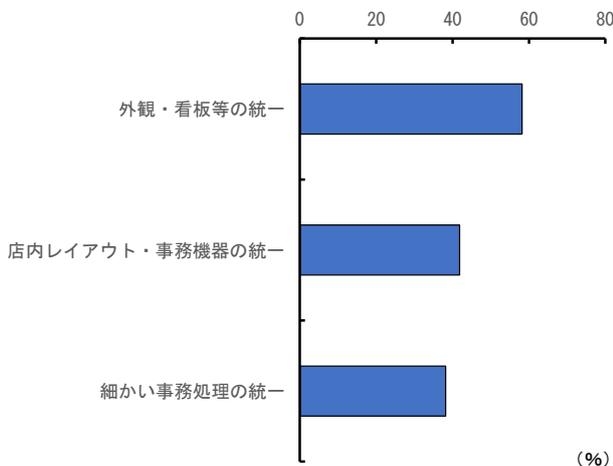
- 本稿は当研究所主催「経営戦略プランニング研修（2024年度）」の事前課題の集計結果となる（回答数は55金庫）。
- 営業店の外観や看板等を標準化する信用金庫は58.1%となったが、その多くは看板デザインの統一であり、店舗外観の標準化となると未実施が大半を占めた。
- 店舗外観と同様に店内レイアウトの標準化も困難との声強い一方で、事務機器の統一については進展がみられた（店内レイアウト・事務機器を統一との回答は41.8%）。
- 細かい事務処理を標準化する信用金庫は38.1%に留まり、過去の経緯などから営業店単位の特殊な事務処理の存在が窺われた。

（注）本稿は、当研究所主催「経営戦略プランニング研修（2024年度）」の事前課題の集計結果をまとめたものである。

1. 営業店の外観・看板等の統一

企業（信用金庫）がブランドイメージを高める手法の一つとして、営業店の外観や看板等の標準化（統一）が重要と言われる。そこで当研修の事前課題では「営業店の標準化状況」を確認した。集計結果をみると、外観・看板等の統一が58.1%（32金庫）となり、研修受講金庫の半数を超えた（図表1、2）。ただし個々のコメントをみていくと『看板の統一』が大半となり、店舗外観の標準化に取り組む信用金庫は限られた。むしろ『地域に根差した外観とする（標準化の考え方になじまない）』などのコメントが散見され、信用金庫によって店舗外観の標準化に対するスタンスの違いが明らかとなった。

（図表1）営業店の標準化状況（割合）



（図表2）事前課題の概要等

質問事項	【営業店の標準化（統一）】 ①外観・看板などの統一 ②店内レイアウト・事務機器の統一 ③細かい事務処理の統一
対象金庫	経営戦略プランニング研修（2024年度）受講金庫
回答期間	2024年6月3日～7月31日
回答金庫数	55金庫
その他	—
参考	詳しくは、金融調査情報（2024-10）「信用金庫の新しいビジネスモデル策定①-「経営戦略プランニング研修（2024年度）」の概要-」を参照

（備考）図表1から3まで信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

2. 店内レイアウト・事務機器の統一

次に店内レイアウト・事務機器の統一を実施済みの研修受講金庫は41.8%（23金庫）となった。ただし建設時期や店舗面積が異なるため、店内レイアウトの『早急な標準化は困難』との意見が大勢を占め、時間をかけつつ建替え時などに取り組んでいく信用金庫もあった。その一方で事務機器の標準化は進んでおり、機器を提供するベンダーの統一や、同一機械の全店配置などがみられた。

3. 細かい事務処理の統一

また営業店単位で存在する細かい事務処理の標準化に苦慮する研修受講金庫が多く、「統一済み」との回答は38.1%（21金庫）に留まった。特に合併から日の浅い信用金庫では事務処理の標準化に遅れがみられ、規程・マニュアル類の整備や事務指導の徹底、集合研修の開催などが活発である。今後については、各信用金庫における営業店事務の本部集中やBPRの進展が予想されるため、事務処理の標準化も加速しよう。

4. 研修受講金庫のコメント

研修受講金庫による事前課題の主なコメントは図表3のとおりである¹。

（図表3）研修受講金庫のコメント例

（店舗外観の統一）

- 当金庫は2018年度にブランドガイドラインを制定済みである。
- 当金庫営業店の建設では同一の設計事務所を採用しているため、基本的なデザインなどが統一されている（同じコンセプトで設計）。
- 店舗外観（色彩）は白色を基調としたものに統一している。
- 店舗周りの植木の除草作業が手間なこともあり、防草シート・砂利に切り替えた。
- 金庫コンセプトで営業店を統一するのではなく、地域のコンセプトを考慮すべき。当金庫は街並みとの親和性などを重視している。

（看板等の統一）

- 金庫100周年に合わせて全店の看板等の文字デザインや色彩などを統一した。
- 看板については、野立看板の設置を原則とし、立地状況によって大きさを変更している。なお視認性によっては、袖看板を採用することもある。
- 当金庫は、老朽化した営業店の設備更改時に看板等のデザインを統一している。
- 看板はイメージカラーやロゴの字体を統一済みだが、そのサイズはまちまちである。そのため店舗外観から受けるイメージは統一感に欠ける面が残る。

本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断をお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

¹ 信用金庫のコメント等は研修受講者の個人的な意見・感想を含むものであり、受講金庫の正式なコメントではない。そのため事例の記載にあたっては信用金庫名が特定できないように修正してある（個別信用金庫名や詳細資料の提供依頼にはお応えしておりません）。